

図書委員会版

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校

図書委員会 2026年 vol.1

図書委員会版の図書館だよりでは、図書委員の広報係がおすすめの本を紹介します。今回は3年生が担当で、作成したPOPは本と一緒に図書館内に展示しています。カラーのPOPの迫力を、図書館に見に来てください！

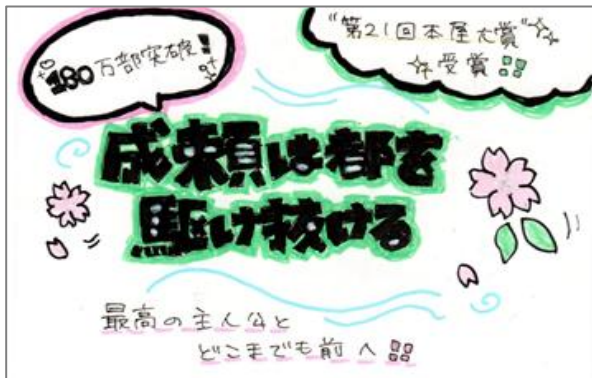
※ 図書館で発行している図書館だよりはクラッシーでお送りしていますので、そちらもご覧ください。

『わたしたちは 銀のフォークと薬を
手にして』 島本 理生 (著) 幻冬舎文庫

生きづらさを抱えた人々の日常を、静かで繊細に描き
出した物語です。 銀のフォークがすくい上げるのは、華やかな食事
だけでなく、言葉にできなかった感情たち。
読み終えたあと、自分自身や大切な人の痛みに、そっと目醒めたく
なる一冊です。

わたしたちは
銀のフォークと
薬を手にして

島本
理生



「ツバメのひみつ」

著:長谷川 克 監修:森元 本 緑書房

身近な鳥「ツバメ」のリアルな生態を
解き明かす本です。平均寿命が1.6年とい
う過酷な一生や、意外な恋愛事情な
ど、知られざるひみつが満載の本です。
読みましょう。

『成瀬は都を駆け抜ける』
宮島 未奈 (著) 新渚月社

自分の信念を貫きながら行動し続ける
主人公・“成瀬あかり”の姿を描いた
青春小説です。

日常に少しの変化や刺激を求めている
人に、ぜひ手に取ってほしい一冊です!!





『王妃の帰還』 柚木麻子(著)
実業之日本社

聖鏡女学園中等部に通うノリスケと
呼ばれる範子は、2年B組の頂点に
君臨する姫ケルファのトッパ・滝沢さんと
「王妃」と呼んでいた。リアルで青臭い！
そんな青春物語。

『BOX BOX BOX BOX』

坂中 湾(著) 河出書房新社

霧がたちこめ、気味の悪い宅配所。永遠とベルトコン
ベアから流れてくるダンボール、増く正社員の怒号のすず
静かに響いていく4人の作業員たち。正規と非正規の
ちがいを仕事の手づかい、孤立感など、読んでいてゾッ
と現場のシメジメとした空気が伝わってくる後味の悪い
作品。



『女王さまの休日』

古内 一絵(著) 中央公論新社

安武さくらは「女性の息抜き旅」をテーマにした記事
のため、台湾に行き、新たな食べ物を食べたり
新たな出会いをします。旅をして、自分自身に向
き合う物語です。主人公に感情移入でき、読んだ
後に心が温かくなる物語です。



『玩具修理者』 小林泰三(著)
KADOKAWA

あなたには、どうしても直してもらいたいモノはありますか？
何でも直してくれるという玩具修理屋。おもちゃ、ぬいぐるみ、
ゲームのカセットまで……。いか、どこかおかしい。

果たして直してくれるのは本当に玩具だけか？
短編なのに頭から離れない。鳥肌級のホラー小説。

